

2016年度を振り返って

国際交流センター長 藪田 由三子

2016年度、国際交流センターでは派遣・受け入れ事業共に活発な活動が行われました。派遣事業としては、夏休み海外研修に44名、春休みの研修に22名、合計66名参加しました。また、1学期間を海外で勉強するセメスター留学には、韓国4名、オーストラリア3名、アメリカ2名の9名が参加しました。海外研修、セメスター留学ともに昨年より参加者が増えました。

受入事業では、長野県と姉妹関係を結んでいるミズーリ州から、5月に大学生を受け入れました。6月には姉妹大学のハニャン女子大学から学生27名と教員1名が来日しました。この交流は2年前のセウオル号の事故から中断されていたもので、今年度2年ぶりに韓

国の学生をキャンパスに迎えることができたのは、とてもうれしいことでした。2月には台湾の学術協定校の高雄第一科技大学から学生5名、教員1名を受け入れました。雪に触れるのも見るのも初めての学生たちは、長野の冬を目標に楽しんでいました。

本年度新しく挑戦したことに、台湾人学生のインターンシップ受入がありました。高雄第一科技大学にて日本語を専攻している学生2名を受け入れ、清泉女学院が中心となり、八幡屋儀五郎、長野商工会議所、長野市観光情報センターで7週間のインターンシップを行いました。海外で働くことは苦勞も多かったと思いますが、所定の期間一生懸命取り組み、日本語も向上させて帰国しました。



ハニャン女子大学生来学



モンゴル文化研修



韓国文化研修

平成28年度海外研修プログラム実績

研修先	期間	主な内容	参加人数
オーストラリア	H28 8/20 ~ 9/3	ホームステイをしながら現地語学学校への通学	9名
モンゴル	H28 8/31 ~ 9/7	草原の小学校修復活動、ゲル宿泊体験・ウランバートル市内観光 など	11名
韓国	H28 8/31 ~ 9/7	姉妹校交流・ホームステイ体験・ソウル観光 など	13名
台湾	H28 8/25 ~ 9/2	提携校にて英語での授業体験、フィールドトリップ など	11名
ハワイ	H29 2/5 ~ 2/19	現地語学学校で英語の学習、文化体験、フィールドトリップ	8名
カンボジア	H29 2/22 ~ 2/28	孤児院でのボランティア、女性の自立を支援するNPOと地産博物館の訪問 など	14名

2017年度は、さらに新たなことに挑戦する年にしていきたいと思っています。

インターンシップ受け入れ

協定校の高雄第一科技大学の学生がインターンシップのため長野を訪れました。受け入れていただいた3つの事業所での就業体験では多くのことを学んだようです。国際交流センターでは主に滞在中の生活面をサポートしました。

全往日本 靠近現實

〜日本へ赴き現実への一歩
黄柏瑜（台湾高雄第一科技大学）

長野の生活は、台湾よりすこしリズムが速いようだ。しかしそれは緊迫した生活というのではなく、その生活リズムは素晴らしいものである。交通事情は台湾に比べそれほど便利ではなかったが、それ以外は何もかも素晴らしかった。長野の人は親切で、冷たくなく、

かといって情熱過ぎてしまうところもない。ゆっくりと近づきゆっくりと包み込む。その雰囲気は異国の温情をじっくり感じさせてくれた。

この実習では、学校の知識と現実とを結びつけることの難しさを感じた。多くの矛盾を感じながら、知識理論は大事であることも改めて感じたが、社会の先輩の経験には学ぶべきことが多いということを実感した。社会に出たとき、これらの経験はきっと私の助けとなり成功へと導くものであろう。実習を通じて、現実社会に近づくことができ、自分の心の持ちようにも変化をもたらしてくれた。自分が何を欲しているかを更に明確にしてくれた。今回、このような機会を与えられ、この実習に参加できたことに心から感謝したい。



長野市観光情報センターにて
(写真右が黄さん、左は李さん)

セメスター留学

留学中の学生は様々な壁にぶつかります。多くは成長のためには乗り越えなければいけない壁ですが、本学では、担当の教員が学生の様子や相談を定期的に聞き、指導をしています。今回はその一例をご紹介します。

学生から (オーストラリア留学中)

最近リスニング力は上がっている気がします。頭の中で和訳をせずに判断できるようになりました。しかし、それと同時に英語が喋り辛く感じています。言っていることは理解できますが、いざ喋ろうとすると言葉が出てこないのです。自分なりに勉強はしているのですが最近テストの点数が思うように伸びません。友達には「3か月の壁じゃないか？」と言われたいと思っています。

担当教員より

リスニングが伸びたなど、自分でも実感できる変化があるのは良いことです。語学は全ての力が均等に伸びていくわけではないので、ジレンマに陥ることもあります。順番としては、まずリスニングやリーディングなどの受容能力が伸び、そのあとに書いたり話したりの発信力がついてきます。〇〇さんの場合には、リスニングの伸びを感じているわけですからスピーキング力も必ずついてきます。今はその境（3か月の壁）にいていいのではないかと思います。ここで諦めずにわかる事だけでも良いので言葉にして話してみましよう。今の環境を思いっきり生かして、頑張ってくださいね。

—このように学生自身が時々その留学生活を振り返ってみることはとても重要なことだと考えています。